

平成24年春
開業へ

住みよいまち、住みたくなるまちをめざし

JR新駅建設が本格化

- JR新駅建設 7億4400万円
- 駅自由通路 2億8500万円
- 駐車場整備（パーク&ライド）1億1500万円

3月 定例会の
あらし

3月定例会は、3月1日から23日までの23日間の会期で開催しました。初日には、町長が新年度予算の大綱と施政方針「簡素で健全性を確保しつつ未来へつなぐ総合予算」と位置

付け、「変化に対応し持続可能な住みたくなるまちをめざして」と、町政の基本的な考えを表明。
平成22年度の10会計の当初予算をはじめ、平成21年度の補正予算、条例の一部改正など25件が上程され、いずれも原案どおり可決しました。
その他、陳情3件を審議し、1件を採択、2件を不採択としました。
議員提出議案として、意見書1件が提出され可決しました。
平成22年度予算審議は、予算特別委員会を設置し、すべて可決しました。
一般質問では、6議員が町政全般にわたり厳しく問

平成22年度

一般会計
予算

126億4000万円

実質1.5%の減

2年連続の緊縮型予算



予算の内容

予算の規模は、一般会計をはじめとする、8つの特別会計ならびに企業会計合せて204億1173万円となり、前年度に対し3億9881万円、2.0%の増となりました。

― 一般会計は、総額126億4000万円、前年度に対し、3億6000万円の増額（2.9%増）、新政権の「子ども手当」支給事業の関連で9億110万円の計上を除くと、実質1.5%減となりました。

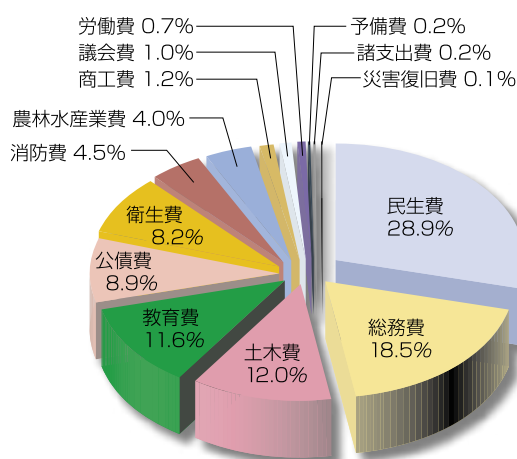
町税の総額は、69億5103万円で、前年度に対し7億1070万円の減。個人町民税は、景気後退の影響を見込み18億800万円。法人町民税

も経済危機の影響から主要企業が軒並み業績不振となり、8570万円とし、前年度と比較し町民税では5億5640万円（15%）の減となりました。

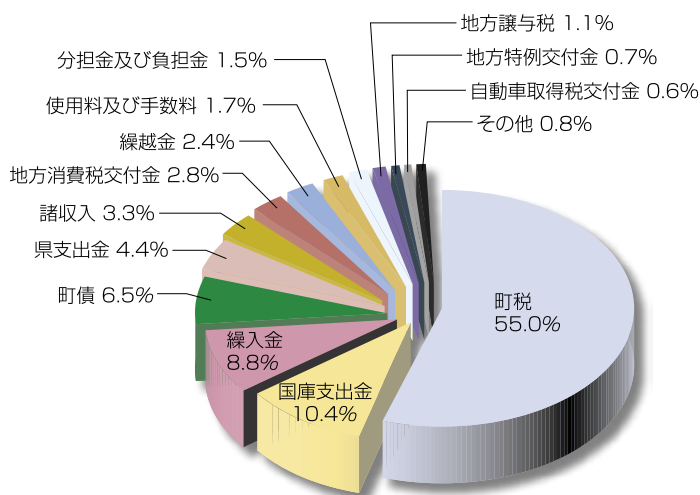
歳出では、JR新駅関連で駅舎および自由通路設置、駐車場、周辺道路整備で11億4400万円などが主なもの。

借り入れ金は、町税の減収を補てんする臨時財政対策債4億6700万円を含め、総額8億2600万円。

特別会計の主なもので、計は、最終年度となった中央公園用地買戻しなど総額2億679万円。幸田駅前土地区画整理事業で主に建物移転として5億376万円となりました。



【歳出】
(使いみち)



【歳入】
(財 源)

一般会計予算の割合

チェック

最大の効果を

新規



子どもを育てる

子ども手当の支給事業
9億110万円

平成22年度は、1人月額1万3000円を支給（6・10・2月）

- Q 町内の対象者は何人か。
A 0歳から15歳（中学校卒業）まで6500人を予定している。
- Q 町の負担金はいくらか。
A 約1億円を見込んでいます。

いのちを守る

新規



救急車の更新

3051万円

住民のいのちを守る高規格救急車、3台目を更新

- Q 出動回数が多いためドライブレコーダーの設置を。
A 車両更新時に順次設置していく。

地域の安全を守る

地域安全ステーション

1095万円

3人から4人体制とし、更なる防犯施策を展開



- Q 増員により時間延長や防犯強化策は。
A パトロール時間の延長を実施、さらに地域との連携を図り、講座開催なども計画している。
- Q 今回の採用も警察のOBか。
A 現在、警察OB2人、行政1人で、今回の採用は行政OBである。

町民の目線に立ち

重点事業を



様変わりしていく幸田の玄関口

まちをつくる

幸田駅前の再開発
5億376万円

- Q 平成21年度までの建物移転補償と、平成22年度の移転予定は。
- A 平成21年度までで24戸、平成22年度は、11戸を予定。
- Q 道路工事は
- A 荻谷蒲郡線の駅前地区は、平成22年度に20mに拡幅する。次いで、国道248号まで拡幅していく。

文化を守る

- Q 国の文化財指定に向けた調査の進捗状況は。
- A かざり太刀やガラスの器を、奈良文化財研究所へ搬入した。
- Q 史跡の町文化財指定後の計画は。
- A 平成25年度までに、美術工芸品の国重要文化財や県の文化財指定をめざす。

本光寺の文化財調査費
1776万円

新規



本光寺東御廟所

くらしを守る

**水道の第3受水点
配水池築造**
3億8717万円

- Q 施設の工事と供用開始は。
- A 町内北部の上水を安定供給するため、平成22年4月から工事開始、平成24年度から供用開始。
- Q 全体事業費は。
- A 3年間で8億3000万円。



第2受水点（里地内）

— 新年度予算審議から —

平成22年度予算案は、予算特別委員会に付託され、
2日間にわたり慎重審議の結果、可決しました。



産業まつり



こうた凧揚げまつり

健康で元気の出る 町民参加の事業

- ジョギング・駅伝大会 501万円
- 凧揚げまつり 180万円
- 夏まつり 350万円
- 産業まつり 399万円
- 健康福祉まつり 88万円

通学・通勤の安全

- 通学路グリーンベルト化 (幸田小・中央小学区) 800万円
- 子どもの安全通学のため歩行帯を緑色にカラー舗装をする。
- 電動アシスト自転車普及事業 420万円
- 国への補助金200万円を使い、18台の電動アシスト自転車をレンタルし、町民にモニターをお願いして、メンテナンス・安全面などを調査する。

予防・検診

- 予防接種事業 1億3205万円 (見送っていた日本脳炎の予防接種を実施)
- 妊婦・乳児無料健診 4581万円 (妊婦健診は国の基準どおりの14回無料)
- 女性特有のがん検診 487万円 (子宮頸がん・乳がんの検診を町単独で継続)
- 養育支援訪問事業 77万円 (虐待や発育など要保護家庭への訪問)

環境・教育に配慮

- 中学生海外派遣 330万円
- 対象人数と行先は。
A 生徒12人、引率4人。
Q 北京・上海・西安で7泊8日の予定。
- 木の香る学校づくり 290万円
- 県内産の間伐材で机、いすを100セット、小学校へ設置。
- あいち森と緑づくり学習 100万円
- COP10推進 152万円
- 保健センターに太陽光発電設置 1360万円
- 住宅用太陽光発電システム補助 1200万円
- 平成21年度と変更は。
A 上限24万円から16万円に変更。



電動アシスト自転車

会計別の当初予算額と採決状況

(▲は減)

会 計 区 分		予算額	前年度比 (%)	採決の状況
一般会計		126億4000万円	2.9	反対 2 : 賛成 12 で可決
特別会計	土 地 取 得	2億 679万円	▲54.7	全員賛成で可決
	国 民 健 康 保 険	29億2458万円	0.4	反対 2 : 賛成 12 で可決
	老 人 保 健	236万円	▲88.7	反対 2 : 賛成 12 で可決
	後期高齢者医療	2億7054万円	12.6	反対 2 : 賛成 12 で可決
	介 護 保 険	12億8177万円	3.8	反対 2 : 賛成 12 で可決
	幸田駅前土地 区画整理事業	5億 376万円	82.2	全員賛成で可決
	農業集落排水事業	4億1884万円	▲8.3	反対 2 : 賛成 12 で可決
	下 水 道 事 業	7億4866万円	▲19.0	反対 2 : 賛成 12 で可決
水道事業 会 計	収 益 的 支 出	6億6408万円	▲3.3	反対 2 : 賛成 12 で可決
	資 本 的 支 出	7億5035万円	43.2	
合 計		204億1173万円	2.0	

賛成

大嶽 弘議員

3

2

1

22年度の予算編成
税の減収が見込まれるなかで、各種基
金の有効活用により、将来を展望した第
5次総合計画との整合性と、住民福祉の
維持向上への配慮がされている。町債発
行は、約8億円で、返済は約11億円強で
返済の方が多い。
JR新駅建設
新駅は、人と物の交流を活発にする投
資であり将来の町の支えとなる。円滑な
建設を期待する。
中学生の海外派遣
子どもは地域の宝である。広い世界、見
識の場所提供は、意義深い事業と考える。

反対

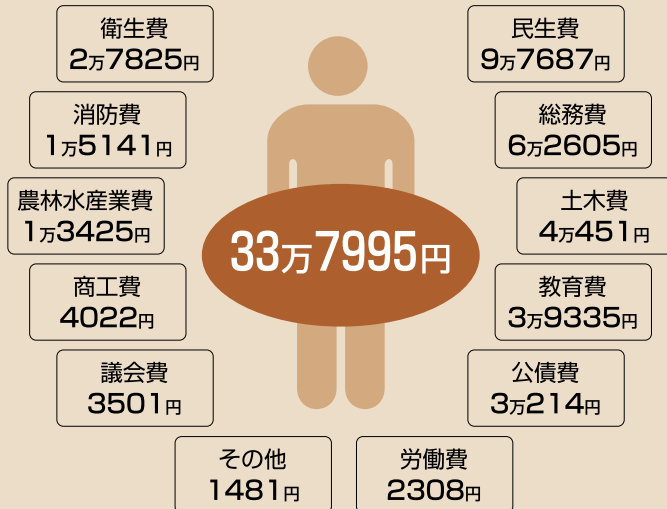
伊藤宗次議員

税金が24億円余。26%余も落ち込み、3年
間で53億円の借金。26%余も落ち込み、3年
間で53億円の借金。
住民合意のない新駅設置などで11億4000
万円余の予算は、見切り発車と暴走だ。
その一方で、補助金一律5%カットで40
6万3000円。中学生海外派遣を復活させ
て330万円。小中修学旅行補助金はカット
したまま。海外派遣中止し、その財源を保護
者負担軽減で役立てて使うべきだ。
借金合計は約160億円。元利返済は18億
円を上回り、町税負担比は26%を超える。
町政の軸足を、開発優先から暮らし支援に
転換を。

討論

ワンポイント解説

民生費…主に高齢者、障害者、子
どもの福祉に使うお金
公債費…町債（借金）返済に充て
るお金
衛生費…ごみ処理や母子保健、検
診などに使うお金
労働費…雇用対策や勤労者の支援
に使うお金



町民一人あたりの予算
の使い道
一般会計

平成22年3月1日現在の人口3万7397人で割って算出

中央小学校の体育館改築工事

2億9767万円で契約



新体育館の完成図



現在の体育館

中央小学校

体育館規模

鉄筋コンクリート造

一部鉄骨造(3階建構造)

1階 児童クラブ室

放課後子ども教室

駐車場(27台分)

2階 アリーナ、ステージ、会議室、器具庫

2階 キヤットウォーク

上部 (メンテナンス用通路)

予定価格3億9000万円を10社にて入札し、株式会社鴻池組が落札した。

完成は、卒業式に間に合わせるため、平成23年2月25日予定。

放課後子ども教室は、平成23年度から開始予定。

Q 予定価格に対し、落札価格72・7%であるが、大丈夫か。

A 入札参加の要綱に基づき募集をし、競争原理が働いた結果である。

安全面も心配ない。

Q 学校周辺の雨水対策を充分に。

A 現況の雨量を調査し、排水対策をおこなう。

Q みんなの森にふさわしい飼育小屋を。

A 地域の要望を踏まえ、木のぬくもりのあるものをつくっていく。

(全員賛成で可決)

住居手当削減

効果581万円

職員の住居手当は、自己所有の世帯主で3000円、新築購入で5年間は400

0円の手当を、いずれも1500円に引き下げる。

Q 対象人数、削減総額は。

A 295人から136人となる。年間約581万円の削減である。

Q 今年度、地域手当、期末手当も見直されたが、一人平均減額は。

A 社会情勢の適応のため見直した。約27万円。(反対2賛成13で可決)

町道路線の認定と廃止

道路整備等に伴い、永野地区など5路線を新規認定、20路線を廃止認定、8路線を廃止した。

(全員賛成で可決)

将来の財政運営に備え 15億5037万円積み立て

会計別の補正予算額

(▲は減)

会計区分		補正額	補正後の額
一般会計		12億7441万円	145億2864万円
特別会計	土地取得	▲1100万円	4億4506万円
	国民健康保険	▲1億7947万円	27億3534万円
	老人保健	▲1670万円	889万円
	後期高齢者医療	▲300万円	2億3959万円
	介護保険	▲1002万円	12億5409万円
	幸田駅前土地 区画整理事業	▲2255万円	3億9500万円
	下水道事業	▲2400万円	9億 44万円



修繕される中吉橋（広田川）

陳 情

- 民間保育所運営費の一般財源化に関する国への意見書採択についての陳情
(反対13賛成2で不採択)
- 障害者自立支援法の「応益負担」「日額払い方式」に関する国への意見書採択についての陳情
(反対13賛成2で不採択)
- 外国人への参政権を付与する法案に反対する陳情
(反対3賛成12で採択)

議員提出議案

- 外国人への参政権を付与する法案に反対する意見書(案)の提出について
(反対3賛成12で可決)

一般会計

安全・安心な学校づくり
交付金、公共投資臨時交付金など国庫支出金1億9223万円の増額と、県支出金1160万円、中央小学

校体育館改築工事費1億3500万円を減額補正した。なお、減収補てん債で13億円借り入れ、将来の財政運営に備え、基金に15億5037万円を積み立てた。
中吉橋と逆川橋の橋梁修

繕費で、3000万円。
深溝・荻谷小学校のエレベーター棟の地震補強工事費で1億円。学校施設の地震補強は、すべて完了する。

平成21年度の補正予算

特別会計

国民健康保険特別会計で、療養給付費等負担金1億5000万円の減額をはじめ、7つの特別会計すべて減額補正された。

審議された その他の議案

●愛知県市町村職員退職手当組合の地方公共団体の

人事案件

●監査委員

黒柳 広治 氏

(全員賛成で同意)

数の減少、規約の変更

(全員賛成で可決)

●愛知県後期高齢者医療広域連合の地方公共団体の数の減少、規約の変更
(全員賛成で可決)